



JPA技術委員会制度改正

JPA技術委員会

ルールブック ホームページに掲載



📁 ルールブックをホームページに掲載しました。

<http://www.jpa-powerlifting.or.jp/2015/wp-content/uploads/2018/06/bfcad94592f0c8261656859e616d45ac.pdf>

(改正分を訂正しないといけないので、その部分
はもうしばらくお待ちください。)

📁 ルールがわからない場合、すぐ調べて正しいルールの下でやりましょう！！

日本記録証、その場で発行にかわります！



- 各担当ブロック技術委員に委任し、日本記録証をその場で発行する。(表彰式の際に発行します！)
- 同日の場合は、すべて認定する。
- 各ブロック技術委員は、終了後速やかにJPA技術委員会に報告し、記録の改訂を行う。
- フルギア・ノーギアの日本記録はそれぞれ完全分離になりました。(ノーギアの記録がフルギアの記録を超えても、更新とならない。)
- 日本記録担当は、大森聖子技術委員です。

審判昇級試験の簡略



- 改定 2級→20人以上の公認パワーリフティング大会ならどこでも可(試験官をブロック技術委員より派遣します。)

2級受験資格を審判10回→8回に軽減

受験時に試技数が足りない時は、試技数が足りない場合は、試技数に応じて、合格点を割り出す。

(例えば合計80試技なら、一級は $90 \times 0.8 = 80$ 試技で72点で合格)

(2級は、80試技なら、 $85 \times 0.8 = 68$ 点で合格)

(小数点は切り下げる。)

- 1級は全国大会で変わりありません。

1級受験資格を審判10回のうち、7回は全国規模の大会から、5回に軽減。
なおその5回はパワーリフティング競技に限る。

- 受験はネット申し込みで。理事会の承認は必要なくなりました。
- 審判関連担当は、荒川大介技術副委員長です。

国際審判試験の簡略化



- 改定 2級以上無条件でOK！
- アジア大会では、学科試験日本語訳を出すことを、確約いただいています。
- ふるって挑戦してください！！

ベルトが地方大会に限り簡略化



- 国内では全国規模・ブロックの大会を除き、厚さが均一になくとも使用可能。

国内ルールとして、全国規模とブロック大会を除き、ループが2本取り付けられていたり、背中の部分だけが厚くなっているようなベルトでも使用可。



このタイプのベルトが都道府県大会以下では可能！

競技服装の明確化・その他改正



- 地方大会に限り、競技服装はスパッツも可。
ただし、ロングスパッツ、短パンは不可！
- ランキング制度は廃止になりました。
- 地方大会は、グループ分けパワーは15名以上の縛りがなくなり、地方協会の裁量に任せます。
- 宿泊を要する大会では、大会で使用する検量計と同じものを、メインホテルに置く義務を、置く努力に変わりました。
- ベンチプレス競技において、試技申請が20kgから可能になりました。22.5kgはカラーを止めないでOKです。

国際派遣標準記録の簡略化



● 派遣標準記録

- 世界大会派遣標準記録は、世界選手権では自身が出場した選考競技会にて、その選考競技会に出場する時の標準記録とする。
- アジア選手権では、自身が出場した選考競技会にて、その選考競技会に出場する時の一つ下の階級の標準記録とする。一番軽い階級の時は、パワーは20kgマイナス、ベンチは10kgマイナスとする。

● 選考基準

- 世界選手権は、どのカテゴリーも、1位から3位までを選考対象とする。
- アジア選手権は、どのカテゴリーも、アジア大会派遣標準記録突破者が選考対象とする。
- その他の国際親善大会はその都度別途定める。

● 出場優先順位

- 出場できる選手数は、各階級に一つずつなので、
- 一般・マスターズ 男子8名、女子7名
- サブジュニア・ジュニア 男子9名、女子8名である。
- 各階級とも優勝者を出場優先順位第1位とする。
- 辞退が出た場合、2位の選手でフォーミラー指数が一番高い選手を順次選考する。
- 各階級の2位でも選考が余る場合は、順次順位を繰り下げる。
- 同じ階級に出場できる選手数は2名である。

国際関連担当は、八木為総技術副委員長です。

B標準について



- ☐ B標準を設定する。B標準は自分が出る階級・カテゴリーの一つ下とする。
- その記録が出れば、推薦で各地区の技術ブロック長の推薦で、1大会3人まで出れるようにする。
(例えば、ジュニア・マスターズ併催の場合は、ジュニアとマスターズ合わせて3名まで。)
- 一番下の階級は、パワー20kg、ベンチ10kgマイナス
施行は31年度からスタート！

審判服装について



- 📁 全日本大会・ブロック大会は正装。現行通りです。
靴に関しては、その会場にふさわしいもので。
(黒の革靴以外でもOK！)
- その他の大会は、審判ポロシャツOK！！

大会の公認申請等について



- ☐ 大会公認申請、結果報告を紙ベースの書類から、Word・エクセル・PDFベースのデータでメールでもらう。

公認申請申し込みフォームと、報告フォームを作りました。

- ☐ 公認されると、JPAホームページの都道府県のところに、掲載されます。

技術委員会メンバー



JPA技術委員会 委員長 塩田 宗廣

副委員長 荒川大介(審判試験)

大森 了(大会総括)

八木為総(国際派遣)

委員 伊差川浩之(IPF・APF折衝) 三浦浩(音響)

善本光彦(大会公認) 大森聖子(日本記録)

ブロック技術委員会

北日本地区 正 北野敏雄

関東地区 正 大森了 副 大森聖子

中部地区 正 副 神野

北信越地区 正 沖浦克治 副 相馬満信

近畿地区 正 森田俊介 副 内藤雅文

中国・四国地区 正 神岡さん 副

九州地区 正 伊差川浩之 副

昇級審判試験は、ブロック技術委員会より試験官派遣